

教科 科目	国語 国語 2	学年	2 年	単 位	5 単位	担当	岩崎 勇太
【科目の概要】 中古から現代に至るまでの日本語を身に付け、理解することを目標としています。「話す・聞く・書く・読む」の四技能それぞれに関心・意欲を持って学習に取り組めるように指導し、自ら考え、他者に伝える力を身につけます。							
【育成をめざす学力】 ① 自学（予習・復習など）できる力 ② 漢字・慣用句・文法・古文・漢文に関する基礎的な力 ③ 多様なテキスト（文章・図・グラフ・資料など）を読解し、理解する力 ④ テキストに書かれていることを自分の知識や考え方、経験と結びつけて表現する力							
【評価基準・評価項目】 ・授業やテストに向けて予習・復習ができる。 ・漢字・語句・文法を習得し、自分の考えを表現できる。 ・筆者の主張や登場人物の心情を読み取ることができる。 ・意見を書いたり述べたりして、自分の考えを表現することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	文学「セミロングホームルーム」 文法「敬語の意味と種類」 問題演習						
5 月	説明文「人間は他の星に住むことができるのか」 短歌「短歌の世界」「短歌十首」 問題演習						
6 月	書写「楷書・硬筆」 古文「枕草子」 評論「100 年後の水を守る」 問題演習						
7 月	報告「壁に残された伝言」 文法「用言の復習・付属語」 問題演習						
8 月	書写「行書・硬筆」 問題演習						
9 月	文学「走れメロス」 図表「共生社会に関するデータ」 問題演習						
10 月	解説「自立とは『依存先を増やすこと』」 古文「平家物語」 問題演習						
11 月	小説「小さな手袋」 文法演習 問題演習						
12 月	漢文「漢詩の世界」 書写「行書・硬筆」 問題演習						
1 月	評論「動物園でできること」 問題演習						
2 月	書写「行書・毛筆」 文学「ポテト・スープが大好きな猫」 問題演習						
3 月	文法演習 問題演習						

教科 科目	社会 2	学 年	2 年	単 位	4.5 単位	担 当	後藤 健司
【科目の概要】 社会を学ぶ意味は、私たち一人ひとりが今生きている「社会」を客観的に見る視点を鍛えることにあります。社会の中で、地理は空間や地域に着目して、人間と自然のかかわりについて主に考え、自然環境の特色、各地域の文化や地域同士のつながり、各地域の工業の発展など様々な観点から社会・世界について学びます。 また歴史では、過去のことについて学ぶことで、私たちが生きる現代と未来についての社会を描いていきたいと思えます。「現在」の世界はどのような原因や過程があってできているのか、地理と歴史を通して現在の世界が抱えている課題についてもみなさんと一緒に考えてみたいと思っています。中学二年生の社会の学習を通して、今、日本は、世界はどうなっているのかを考える力を身につけます。							
【育成をめざす学力】 ・世界と日本の地域性と地域構造を理解するための基本用語を習得する力 ・基本用語間の関係を把握しながら、学習内容を整理する力 ・基本用語を具体的に使いながら、学習内容を説明する力 ・資料（地図、表、グラフなど）を読み取る力 ・学習内容を地域理解や社会認識につなげる力 ・学習内容から得た地域観や社会観を評価する力							
【評価基準・評価項目】 ・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる（社A①） ・基本用語間の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる（社A②） ・基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる（社A③） ・単元の学習内容を通じて、各地域の「地域理解」「社会認識」の特殊性・普遍性を判断できる（社B①②） ・各地域の「地域理解」「社会認識」について自分の価値観に照らして評価できる（社B③） ・社会問題から解決課題を発見し、学習内容を活用しながら解決策を提示できる（社C①～⑤） ・学習過程において地図、写真、グラフ、文章等の資料を読み取ることができる（社A④） ・学習過程において必要な情報を収集し、地図、写真、グラフ、文章等の資料として提示できる（社B④、C①～⑤） ・学習成果を通じて、学習内容に関する習得、理解、活用状況を検証し、改善できる（社A⑤、B⑤、C⑥） ・学習過程を通じて、地理学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる（社C⑦）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月 5 月 6 月 7 月 8 月	（地理分野） 世界の諸地域 ・アフリカ州・北アメリカ州 南アメリカ州・オセアニア州	（歴史分野） 中世の日本 武士政権の成立 ユーラシアの動きと武士の政治展開					
9 月 10 月 11 月 12 月	日本のさまざまな地域 地域調査の手法 地形、気候から見た日本の特色 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 日本の諸地域 九州・中国・四国・中部地方	近世の日本 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と対外政策 産業の発達と幕府政治の動き					
1 月 2 月 3 月	関東・東北・北海道地方	産業の発達と幕府政治の動き 欧米における近代化の進展					

教科 科目	数学 2	学 年	2 年	単 位	4.5 単位	担 当	矢野 美保
【教科・科目の概要】 1 年次に学習した文字式、方程式を発展させ、いくつかの文字を含む式の四則計算ができるようにすることや式を活用する能力をつける。連立方程式では、2 種類の文字を使って立式することの利点や2つの数量関係を方程式で表すことにより、問題解決が容易になることを学ぶ。1 次関数の学習では具体的な事象の変化や対応の考察を通して関数についての理解を深める。図形の学習では操作的な活動によって明らかになった性質を筋道の立った考え方で演繹的に確かめる。確率では偶然の事象を観察する中で規則性を見つけ、偶然に支配されることがらの起こりやすさを数値化する。							
【育成をめざす学力】 ① 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力 ② いろいろな問題の解決に向けて、根拠を明らかにし、筋道を立て、体系的に考えることのできる力 ③ いろいろな問題の解決に向けて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの関連を理解し、活用できる力 ④ 学習活動を通して、自分の考えを説明、表現できる力 ⑤ 数学を学ぶ意欲を高め数学的な見方や考え方のよさを実感し、それらを通して考えたり判断したりできる力							
【評価基準・評価項目】 ① 事象の中に数量関係を見出し、それを文字式に表し考察することができる。 ② 連立 2 元 1 次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ③ 具体的な事象の中から一次関数を取り出し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身につけている。 ④ 具体的な事象の観察や実験を通して確率を用いて考えることのよさを実感し、日常生活に活かすことができる。 ⑤ 基本的な平面図形の性質を見出し、それを確かめ、論理的に考察することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4,5 月	第 1 章：式の計算						
6 月	第 2 章：連立方程式						
7 月	1 節 連立方程式 ①連立方程式とその解 ②解き方（加減法、代入法）③いろいろな連立方程式の解き方 2 節 連立方程式の利用①連立方程式の利用（代金、個数、整数、速さ、割合など）						
8 月	第 3 章：1 次関数						
9 月	1 節 1 次関数 ①1 次関数 ②値の変化 ③1 次関数のグラフ ④1 次関数の式の求め方 2 節 1 次関数と方程式 ①2 元 1 次方程式とグラフ ②連立方程式とグラフ 3 節 1 次関数の利用 ①1 次関数の利用(身の回りのこと、動点)						
10 月	演習 1 次関数と図形						
11 月	第 4 章：図形の性質と合同						
12 月	1 節 平行線と角 ①直線と角 ②三角形の角 ③多角形の角 2 節 三角形の合同 ①合同な図形 ②三角形の合同条件						
1 月	3 節 証明のしくみ ①証明のしくみ(演習)						
2 月	第 5 章：三角形と四角形						
3 月	1 節 三角形 ①二等辺三角形の性質 ②二等辺三角形になる条件 ③直角三角形の合同条件 2 節 四角形 ①平行四辺形の性質 ②平行四辺形になる条件 ③特別な四角形 ④面積が等しい三角形 発展学習 数と規則性、図形と規則性						
4 月	第 6 章：確率						
5 月	1 節 確率 ①事からの起こりやすさ ②確率 ③いろいろな確率						
6 月	3 年数学						
7 月	1 章 式の計算 文字式の展開，因数分解，素数，素因数分解						

教 科 科 目	理科 2	学 年	2 年	単 位	4.5 単位	担 当	榎本 紗英
【科目の概要】 〈単元1 化学変化と原子・分子〉化学変化についての観察、実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について、原子や分子のモデルと関連づけて微視的にとらえ、理解を深めます。 〈単元2 生物の体のつくりとはたらき〉実験・観察を通して、細胞レベルで見た生物の共通点と相違点から、生物と細胞、植物と動物の体のつくりと働きについて学びます。 〈単元3 電流とその利用〉電流についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解し、日常生活に関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養います。 〈単元4 気象のしくみと 天気の変化〉身近な気象の観察、実験を行い、気象要素と天気の変化に着目しながら、大気中の水の状態変化や大気の動きと関連付けて学びます。							
【育成をめざす学力】 (1) 理科の基本的な概念や原理・法則の理解 (2) 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能、安全管理 (3) 自ら問題を見だし、見通しをもって観察、実験する力 (4) 実験結果を分析し、規則性や関係性を見だし、表現する力 (5) 自然の事物・現象に興味関心をもち、自ら学び、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究する態度 (6) 文章、図、グラフ、表などを読み取る読解力 (7) 共同学習において、他者を尊重し、協力する態度							
【評価基準・評価項目】 知識・技能…電流とその利用、化学変化と原子・分子、生物の体のつくりと働き、気象とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(評価材料：定期考査、小テスト、実技テスト) 思考・判断・表現…電流とその利用、化学変化と原子・分子、生物の体のつくりと働き、気象とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見だして表現するなど、科学的に探究している。(評価材料：定期考査、小テスト、実験・観察レポート、調べ学習や研究作品、プレゼンテーション) 主体的に取り組む態度…電流とその利用、化学変化と原子・分子、生物の体のつくりと働き、気象とその変化に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、理科ノート、調べ学習や研究作品、小テスト、プレゼンテーション)							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	〈単元1 化学変化と原子・分子〉	1 章 物質の成り立ち					
5 月	2 章 いろいろな化学変化	3 章 化学変化と熱の出入り					
6 月		4 章 化学変化と物質の質量					
7 月	〈単元4 気象のしくみと天気の変化〉	1 章 気象観測 2 章 気圧と風					
8 月		3 章 天気の変化					
9 月	3 章 天気の変化	4 章 日本の気象					
10 月	〈単元3 生物の体のつくりとはたらき〉	1 章 生物をつくる細胞					
11 月		2 章 植物の体のつくりとはたらき					
12 月		3 章 動物の体のつくりとはたらき					
1 月	〈単元4 電流とその利用〉	1 章 電流と回路					
2 月		2 章 電流と磁界					
3 月		3 章 電流の正体					

教科 科目	音楽 2	学 年	2 年	単 位	1 単位	担 当	佐野智江
【科目の概要】 2 年生から、音楽は週 1 時間の授業になります。1 年生で学習した内容に加え、拍子の種類、曲の形式等を学びます。また、外国の民謡を原語で歌唱する授業も取り入れます。1 年生で学んだ音楽の基礎知識をふまえ、一歩進んだ学習活動を展開します。							
【育成をめざす学力】 ・ト音譜表、ヘ音譜表を読む力。 ・外国の民謡を原語で歌唱し、その雰囲気を楽しむ姿勢。 ・曲の構成、形式、拍子を理解し、それを表現や鑑賞に生かすことが出来る力。 ・パート練習や意見交換を通して、自主的な音楽活動が出来る力。							
【評価基準・評価項目】 ○知識・技能：音楽の構造の理解。歌唱、(器楽)、創作に必要な技能。(定期考査、実技テスト) ○思考・判断・表現：旋律、速度、強弱、歌詞内容の知覚や工夫。(定期考査、実技テスト、創作活動) ○主体的に取り組む態度：諸活動への意欲。(授業中の取り組みや態度)							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって楽しもう 「夢の世界を」 拍子の種類について						
5 月	フーガのおもしろさを味わいながら鑑賞しよう 「フーガ ト短調」 言葉と旋律の関係を理解しよう 「夏の思い出」						
6 月	讃美歌コンクールに向けて 実技テスト（歌唱）						
7 月	讃美歌コンクールに向けて 期末考査						
8 月	讃美歌コンクールに向けて						
9 月	讃美歌コンクールに向けて 曲想を生かして表情豊かに歌おう 「サンタ ルチア」						
10 月	曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。 「交響曲第 5 番 ハ短調」 ハレルヤコーラス練習 実技テスト（歌唱）						
11 月	クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」）						
12 月	クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」） 2 学期のまとめ 期末考査						
1 月	歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わおう 「荒城の月」						
2 月	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう 歌舞伎「勸進帳」 実技テスト（歌唱） 学年末考査						
3 月	1 年間のまとめ						

教科 科目	美術 2	学 年	2 年	単 位	1 単位	担 当	服部 夏子
【科目の概要】							
日常の中の美を発見し、それを応用して作品をつくる方法を学びます。また、自分の表現したい内容に合わせて色や形を選ぶ経験を積みます。さらに日本の美術と西洋の美術の変遷と影響について学び作品の良さを味わいます。							
【育成をめざす学力】							
・ 自然物・人工物に目を向けその良さを発見する力 ・ 目標を設定し実現のために計画的に行動する力 ・ 民族・地域・時代による価値の違いに興味関心を持ち理解する力 ・ 道具・技法等を目的に応じて使いこなす力 ・ 表現することに価値を置き有効な表現手段を探り、表現する力							
【評価基準・評価項目】							
・ 自分の思いや考えを、表現・発表することができる（主体的に取り組む態度） ・ 造形的な視点に立ち周囲の自然や物の良さや美しさを発見し、独創的な表現につなげることができる (思考・判断・表現) ・ 美術の変遷を影響と発展の観点から理解することができる（知識・技能） ・ 自ら構想した物を形や色を工夫して視覚化することができる（知識・技能） ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現することに取り組もうとしている（主体的に取り組む態度） ・ 作品を鑑賞し、自分なりに良さを発見することや作者の思いや工夫に触れることに主体的に取り組もうとしている（主体的に取り組む態度）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	線と面の構成 色彩による構成 完成・鑑賞						
5 月							
6 月							
7 月							
8 月							
9 月	日本の美術・西洋の美術 生活に生きる美意識（伝統工芸・和菓子など） 仏像・障壁画　水墨画						
10 月							
11 月							
12 月	江戸時代の絵画 浮世絵 日本と西洋の交流 印象派						
1 月							
2 月							
3 月							

教 科 科 目	保健体育 体 育	学 年	2 年	単 位	2 単位	担 当	浦 元 久 美 子
【科目の概要】							
心と体を一体としてとらえ、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、自己の能力に適した課題を持って取り組む姿勢を養う。また、チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。							
【育成をめざす学力】							
◇互いに協力して自己の役割を自覚し、チームの課題や自己の能力に適した解決を目指し、勝敗に対して、公正な態度が取れるようにする。							
【評価基準・評価項目】							
・ 自己の能力に応じて、運動の技術を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。 ・ 社会におけるスポーツの意義の必要性や運動の学び方について理解できる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5 月	1 体育実技の受け方のオリエンテーション・安全教育 2 集団行動・体育祭の練習						
6 月	3 剣 道 ①オリエンテーション （剣道の歴史・用具の説明・マナーと安全） ②礼法・構え方と素振り ③攻撃の基本技術（面打ち・小手打ち・胴打ち） ④刀による剣道基本技稽古法（基本1～9）						
7 月	⑥ 段審査・評価						
8 月 9 月 10 月 11 月	4 バドミントン ①オリエンテーション・安全教育②クリアー③サーブ ④スマッシュ⑤評価⑥ゲーム						
12 月	5 サッカー（フットサル） ①オリエンテーション・安全教育②パス ③ドリブル						
1 月	④シュート						
2 月 3 月	⑤評価・ゲーム						

教 科 科 目	保健体育 保 健	学年	2 年	単 位	1 単位	担 当	浦 元 久 美 子
【科目の概要】							
体育理論の学習を通して、自分の能力に合った運動の課題解決を見つけ、仲間とともに教え合い、助け合うことによって、ほんとうの運動の楽しさや喜びを体験できることを教える。 健康に関する体の働き、環境、社会のしくみなどを考えることによって、健康や安全についての管理能力や探究心を養う。							
【育成をめざす学力】							
○運動をみずから進んで計画し、実践していく能力。 ○心身の健康の保持増進にかかわる実践力。 ○健康・安全管理能力。							
【評価基準・評価項目】							
・健康の大切さや体の発育、発達などの基礎的な事項が理解できる。 ・心の健康に関する課題が理解できる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5 月	1. 保健の受け方についてオリエンテーション 2. 感染症について						
6 月	3. 心身の発達と心の健康 ①体の発育・発達 ②吸・循環機能の発達						
7 月	③機能の成熟						
8 月	④とどう向き合うか						
9 月	⑤人とのかかわりと自分らしさ						
10 月	⑥欲求やストレスへの対処						
11 月	4. 医薬品について						
12 月	5. 薬物乱用						
1・2 月	6. 健康と環境 ①環境の変化への体の適応 ②快適で能率のよい環境③衛生的な飲料水の供給 ④空気の汚染と換気⑤し尿とごみの処理 ⑤たちの生活と環境問題						
3 月	7. まとめ						

教科 科目	技術・家庭 2	学 年	2 年	単 位	2 単位	担 当	内田 絵理香
【科目の概要】 技術・家庭科では、よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな課題を解決する方法を学びます。生活するためには、知っているだけでなく、実際に手や体を動かして体験することが必要です。そのために実習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を習得します。また、生活の基盤である家庭の役割や、家族や周囲の人々の支え合いの大切さについて学び、周囲の人々との豊かなかかわり方を工夫したり、自分のくらしと環境のかかわりについて考えたりして、実践する力を養います。これらの学習を通して生活の自立と共生のための基礎的な考え方や知識・技術を身につけ、生活を工夫し、創造することが教科の目標です。							
【育成をめざす学力】 ・情報を収集し、活用する力 ・課題に対して様々な角度から考える力 ・自分の考えをまとめる力 ・生活をよりよいものに改善していこうとする意欲や創意工夫する力 ・生活の自立と共生のために必要な力							
【評価基準・評価項目】 ・木材加工、食生活についての基本的知識・技術を習得できている。 ・説明を聞き、指示された内容を理解して実習を行うことができる。 ・安全に配慮し、グループのメンバーと協力して作業することができる。 ・学習内容に関するスクラップブックを作成し、その内容を要約して発表することができる。 ・必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて発表することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月～ 7 月	「材料と加工の技術」 1. 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み (1)身の回りの材料と加工の技術 (2)木材, 金属, プラスチックの特性 (3)材料に適した加工方法 (4)丈夫な製品を作るために (5)材料と加工の技術の工夫を読み取ろう 2. 材料と加工の技術による問題解決 (1)問題を発見し, 課題を設定しよう (2)製品を構想し, 設計しよう (3)製作の計画を立てよう (4)作業手順を考えて製作しよう (5)問題解決の評価, 改善・修正 3. 社会の発展と材料と加工の技術						
8 月～ 12 月	「わたしたちの食生活」 1. 食事の役割と中学生の栄養の特徴 (1)どうして食事をするのだろう (2)私たちの食生活(3)栄養素ってなんだろう(4)中学生に必要な栄養 2. 中学生に必要な栄養を満たす食事 (1)食品に含まれる栄養素 (2)何をどのくらい食べればよいか (3)バランスの良い献立作り 3. 調理のための食品の選択と購入 (1)食品の選択と購入 (2)生鮮食品の特徴 (3)加工食品の特徴 (4)食品の保存と食中毒の防止						
1 月～ 3 月	4. 日常食の調理と地域の食文化 (1)日常食の調理 (2)野菜・いも・肉・魚の調理 (3)日本の食文化と和食の調理 (4)持続可能な食生活を目指して						

教科 科目	英語 2	学 年	2 年	単 位	5.5 単位	担 当	古賀直美 クリスオサリバン
【科目の概要】 英語は今や世界の共通語となっています。英語が使えるようになることで、皆さんの世界が広がっていくことはまちがいありません。英語の学習を通して、世界に目を向け、様々な国の文化や思想の違いについて理解を深めると共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、実践的コミュニケーション能力の基礎を養います。5.5 単位のうち、1.5 単位をオーラルコミュニケーションの授業とし、ネイティブ教師と日本人教師が指導するクラスで、英語を聞いて即座に英語で答えることのできる力を養っていきます。4 単位は教科書やタブレット等を活用し、語彙力、文法力をつけながら、英語で話したり、書いたりする活動を行います。							
【育成をめざす学力】 Reading 速くそして正確に英文の内容を読み取る力 Listening 目的をもって展開を予測しながら聴き、内容を把握する力 Speaking / Writing 身近な話題について自ら考え、積極的に英語で表現する力							
【評価基準・評価項目】 Speaking ：英語での簡単な受け答えができる。自分のことや日本のことを簡単に英語で話すことができる。 Writing ：自分のことや日本のことについて、50 語程度の英文で自分の考えや意見を書くことができる。 Reading ：短い英文を読み、理解することができる。 Listening ：簡単なまとまりのある英語を正しく聞き取ることができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	オリエンテーション・1 年の復習・Review Lesson						
5 月	Lesson 1 第 4 文型、接続詞 (that) Lesson 2 接続詞 (when / if)、過去進行形 Immediate Conversation						
6 月	Lesson 3 不定詞、Reading 1、						
7 月	Lesson 4 動名詞、S+V+O+O(that 節)						
8 月	Lesson 4 動名詞、S+V+O+O(that 節)						
9 月	Lesson 5 疑問詞 + to-不定詞、It is (～for) to-不定詞)						
10 月	Lesson 6 比較 (同格・比較級・最上級)						Skit
11 月	Lesson 7 受動態 , Project 2, Reading 2						
12 月	Lesson 8 間接疑問文、感嘆文						
1 月	Lesson 9 第 5 文型、tell, ask ,want + 人 + to-不定詞						
2 月	Project 3, Reading 3, Further Reading						
3 月	1,2 年の総復習						

教 科 科 目	聖書	学 年	2 年	単 位	1 単位	担 当	佐藤 清一
【科目の概要】 1 年次に「キリスト教入門」として学んだ旧約聖書の理解をさらに深め、聖書の人間理解や神と人間との関係について学ぶことを目指す。一年間で旧約聖書全体を学ぶ。							
【育成をめざす学力】 A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。 B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。 C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。							
【評価基準・評価項目】 ・旧約聖書の主な内容について理解し、知識を身に着けている。 ・日常生活において生じる様々な問題について聖書に基づいて考え、判断したり、自分の意見を述べることができる。 ・聖書の授業に興味・関心を持ち、課題等に対して、主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	旧約聖書の学びへの導入 創世記（天地創造、アダムとエバ）						
5 月	創世記（大洪水とノアの箱舟、バベルの塔、アブラハム）						
6 月	創世記（ヤコブ、ヨセフ）						
7 月	出エジプト記（モーセ、出エジプト）						
8 月	出エジプト記（葦の海を渡る）						
9 月	出エジプト記（シナイ山の契約、十戒）						
10 月	出エジプト記（荒れ野の放浪）～ヨシュア記～士師記～サムエル記						
11 月	サムエル記～列王記（ダビデ、ソロモン）						
12 月	列王記・預言書（王国の分裂、滅亡と預言者）						
1 月	預言書・エズラ・ネヘミヤ（捕囚期）、ヨブ記、詩編						
2 月	箴言、コヘレトの言葉、雅歌、ルツ記、エステル記、ダニエル書、ヨナ書、哀歌						
3 月	まとめ						

教科 科目	インテグレーション 2	学 年	2 年	単 位	1 単位	担 当	2 学年教師
【科目の概要】							
Integration は「統合」を意味し、異なる教科の担当教師が協働で学年目標に沿った授業計画を作成して行う本校独自の設定教科です。2 年次では学年目標である「世界に目を向けることができる生徒の育成」を実践していくために学習を進めます。軸になる教材として「エナジード CORE2.0」を使用し、1 学期に Vol.4 「意思を持ち、社会を生きる力（仕事（価値）」、2 学期に Vol.5 「距離を把握し、挑戦する力（挑戦）」、Vol.6 「自分の世界を広げる力（世界（視野）」について考え、学んでいきます。また、コラム学習や職業調べ、グループディスカッションやプレゼンテーションも行い、学力の三要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を統合的に身につけていきます。							
【育成をめざす学力】							
・インターネットや文献などから必要な情報を収集し、内容を理解する力 ・調べた内容をまとめ、表現・発表できる力 ・相手の意見や考えを聴き、客観的に判断できる力 ・自分の考えを筋道を立てて表現できる力 ・日本や世界についての理解を深め、視野を広げていこうとする姿勢							
【評価基準・評価項目】							
・必要な情報を収集し、それを整理、理解することができる ・課題解決に向けて、協力して話し合い、考えを深めることができる ・他者の考えを聞き取り、客観的に判断し、評価することができる。 ・必要な情報を的確に伝えるレポートを作成することができる。 ・調べた内容を筋道をたててまとめ、発表することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	オリエンテーション ENAGEED vol.4						
5 月	職業についての調べ学習（進路サポートブックなど）						
6 月	読解力・語彙力向上プログラム（コラム学習他）						
7 月	職業についての調べ学習（進路サポートブックなど）・レポート作成						
8 月	プレゼンテーション★テーマ「仕事と私～職業体験や調べ学習で学んだこと～」 読解力・語彙力向上プログラム（コラム学習他） ENAGEED SUMMIT に向けて						
9 月	ENAGEED SUMMIT に向けて						
10 月	ENAGEED vol.5～vol.6						
11 月	読解力・語彙力向上プログラム（コラム学習他）						
12 月							
1 月	ENAGEED vol.6 × コラム学習 「世界の問題解決について」						
2 月	校内英語スキットコンテスト準備						
3 月	校内英語スキットコンテスト・西南イングリッシュデイ（セカンドプログラム）準備						